

みずほCustomer Desk Report 2017/03/29号(As of 2017/03/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.71 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.77	1.0861	120.30	0.9857	1.2561	0.7628
SYD-NY High	111.20	1.0872	120.40	0.9936	1.2596	0.7655
SYD-NY Low	110.18	1.0799	119.71	0.9832	1.2442	0.7587
NY 5:00 PM	111.15	1.0815	120.20	0.9929	1.2448	0.7635
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.215/9.665		25RR	1.403	Yen Call Over	
NY DOW	20,701.50	150.52	債券市場			
NASDAQ	5,875.14	34.77	日本2年債	-0.2620	▲0.2bp	
S&P	2,358.57	16.98	日本10年債	0.0580	0.2bp	
日経平均	19,202.87	217.28	米国2年債	1.3016	4.9bp	
TOPIX	1,544.83	20.44	米国5年債	1.9636	4.5bp	
シカゴ日経先物	19,255	200.00	米国10年債	2.4178	4.0bp	
ロンドンFT	7,343.42	49.92	独10年債	0.3880	▲1.4bp	
DAX	12,149.42	153.35	英10年債	1.1920	2.5bp	
ハンセン指数	24,345.87	152.17	豪10年債	2.6990	▲0.9bp	
上海総合	3,252.95	▲14.01	為替市況	USD/CNH	6.8737	0.0183
USDJPY 3M Vol	9.80	▲0.29%		ドルインデックス	99.71	0.55
USDJPY 6M Vol	9.76	▲0.21%	商品市況	CRB指数	184.078	0.98
EURJPY 3M Vol	11.51	▲0.40%		NY金	1,258.80	0.00
EURJPY 6M Vol	10.96	▲0.29%		WTI	48.37	0.64
				Dubai Spot	49.51	0.43

【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
3月28日	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報値	2月 0.4%	0.2%
	23:00	米	コンファレンスボード消費者信頼感	3月 114.0	125.6
3月29日	01:45	米	ジョージ・カンザスシティ連銀総裁講演	-	-
	01:50	米	イエレンFRB議長講演	-	-
	-	米	フィッシャーFRB副議長インタビュー	-	-
	02:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	05:30	米	パウエルFRB理事講演	-	-

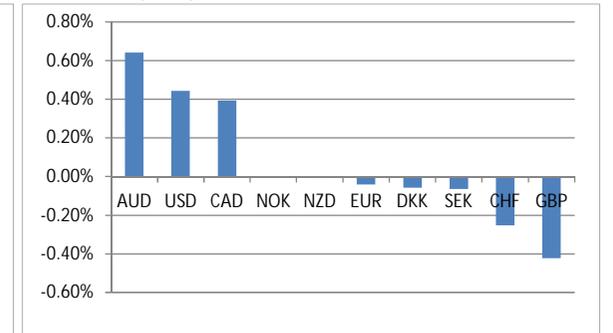
【本日の予定】

Date	Time	米	Event	予想	前回
3月29日	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	-2.7%
	22:20	米	エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	-
	23:00	米	中古住宅販売契約(前月比)	2月 2.5%	-2.8%
3月30日	00:30	米	ローゼン格林・ボストン連銀総裁講演	-	-
	02:15	米	ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	朝方のドル円は短期筋のショートポジションの巻き戻し等から110円台半ばから後半まで上昇し110.77レベルでオープン。日経平均株価が前日比200円超高まで上昇する展開となりドル円は一時110.83まで連れ高となった。仲値通過後は実需勢による月末絡みの円転加が意識されたことや米金利が低下したことを背景に110円台半ばまで下押しされた。その後は特段の新規材料ない中、方向感に乏しいもみ合い推移が続いたが、引けにかけて小幅に上昇し、110.68レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.68レベルでオープン。イン石油相が協調減産の延長を示唆したことで、原油買いドル売りに繋がり、ドル円も110.38まで軟調に推移。110.46レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2545レベルでオープン。全般的なドル売りの流れを受けて1.2596まで上昇するも、その後は翌日にリスボン条約第50条が通告されることに対する警戒感などがポンド売りの展開となり、1.2552レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルブリ 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は110.46レベルでオープン。朝方は下値を試す動きに安値110.18まで下落。しかし前日同様、110.00手前ではドル買い意欲も強く、この水準では下げ渋るとその後流れは一変。米3月コンファレンスボード消費者信頼感が予想を大きく上回ったことや、「リビアが国内最大の油田からの供給を減らしている」との報道を受けて原油需給改善期待からWTI原油先物が上昇したことなども支援材料となり米株が堅調推移となると、先週末強まったリスクオフの巻き戻しが強まりドル円も110.60付近まで反発。昼過ぎに行われたイエレンFRB議長の講演では金融政策について言及されなかったが、その後行われたフィッシャーFRB副議長のインタビューにおいて「2017年はあと2回の利上げがおおむね適切」との言及があり米金利が一段高となると、ドル円は東京時間高値の110.83を上抜け、ストップを巻き込みながら高値111.20まで上昇。その後も111円台で底堅く推移し、111.15レベルでクローズした。一方ユーロドルは1.0853レベルでNYオープン。リスボン条約50条の正式通告を翌日に控えユーロプレジデント選も燃中、ユーロドルは上値重く推移。その後米金利上昇を背景にドル買いが強まると、ユーロドルは1.0799まで下落し、1.0815レベルでクローズした。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-111.50	1.0790-1.0830	119.60-120.70

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は111円台前半まで上昇する展開。米消費者信頼感指数が125.6ポイントと2000年以来の高水準となったことや、原油相場が上昇したことをうけ、トランプ米大統領の政策運営に対する不透明感から軟調地合いが続いていた米株式市場が大きく反発。加えてフィッシャーFRB副議長がFOMC参加者の予想が今年あと2回の利上げがあるとしていることについて「妥当な線だ」と述べたことを受け、米10年債利回りが上昇。これら米経済指標などの改善や、米金利の上昇が材料となり、ドル買いが進み、対円では111円台前半まで円安に、対ユーロでも一時1.07台までユーロ安に進む結果となった。市場の焦点が政策への不確実性から経済指標などに移ったような値動きを見せた昨日の値動きだが、本日は大きな経済指標もない一方で、米トランプ大統領が国境調整税に向け30日に国家経済会議委員長ら当局者グループと協議するとの報道もあり、ドルは再び上値が重い展開を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。